

### 第25回Next30産学フォーラム

5月27日(金)、第25回Next30産学フォーラムを開催、38名が参加した。

はじめに、名古屋経済大学経済学部准教授の大塚雄太氏が「アダム・スミスの虚像と実像ー彼は『経済学者』だったのか?」と題して講演を行った。経済学の父と呼ばれるアダム・スミスは道徳哲学の教授の顔を持っており、決して自由放任主義者ではなく、逆に社会における常識や規則の中で経済活動を行うことが正しいと考えたことや、道徳哲学を生涯大切にしたこと等を紹介した。

次に、企業からの話題提供として、(株)レオパレス21学校法人営業部マネージャーの中田悟司氏が「レオパレス21における産学連携の取り組みについて」と題して講演を行った。近年、海外の日系企業に対する物件の紹介や出張手配等に力を入れる一方で、大学と産学連携に取り組んでいる事例を紹介。アパートの管理・運営だけでなく、教育界が抱える「学生募集」「教育カリキュラム構築」等への課題に対して自社のノウハウを活用して解決していきたいと述べた。



続いて、岐阜薬科大学臨床薬剤学研究室助教の神谷哲朗氏が「フォースの覚醒が導く医療～多角的に物事を捉える楽しさ～」と題して講演とグループディスカッションを行った。自身の研究分野であるプラズマ医療科学を例に、物事を多角的に捉える面白さを説明した上で、参加者に自身の仕事を「今の角度」と「異なる角度」で見た場合にどのように捉えられるのかという課題を提示した。グループディスカッションでは、業務の専門性にとらわれない議論が交わされ、大いに盛り上がった。

その後の懇親会では、参加者が講演者を囲み、それぞれの研究内容や事業概要について意見を交わすなど、より一層の親睦を図った。

(産業振興部 水田 晴久)

### 第1回社会基盤委員会

6月6日(月)、第1回社会基盤委員会を開催、委員長の柘植副会長はじめ47名が参加した。



今回の委員会では、4月25日に公表した「中部圏交通ネットワークビジョン」について、前回の委員会からの変更点や公表後に各自治体等に配布・説明した際の感想や意見等を報告した。

冒頭、柘植委員長は「約1年半をかけて、本ビジョンをまとめるべく活動を進めてきた。今回のビジョンには、委員会・専門委員会での大変熱心な議論や、事務局が足を運んで各地域から吸い上げた様々な意見が入っており、今後、中部圏の交通体系をどうするかを考える上でのバイブルになると思う」と挨拶を述べた。

事務局からの報告の後、委員からは「今後整備するインフラが、各交通機関別に整備時期も明確に記載されており、非常にわかりやすい」との感想や、「ビジョンにも記載されているように、これからはストック効果をわかりやすく説明していくことが大切だ」「今後は、このビジョンの実現に向けて、戦略・戦術をしっかりと練って取り組んでいくことが重要だ」等の意見が出された。

また、委員会終了後には交流会を開催し、参加者相互の親睦を図った。

(社会基盤部 鹿沼 祐介)